

ベトナムにおける現地情報

2022年5月19日

ASIA GATE VIETNAM CO., LTD.

豊田英司

【コロナ関連ニュース】

(ベトナム入国に関する制限や書類はほぼ撤廃)

3月、4月には連日20万人～40万人の感染者を数えたベトナムの状況は一気に沈静化し、現在では毎日、2,000人程度になっています。

すでにほとんどの社会活動、経済活動もコロナ前の活動状況に戻ったと言って良いかと思います。

ベトナムへの入国についても、従前求められた「入国前の新型コロナウイルスの陰性証明書」「入国前24時間以内のオンライン医療申告」などは不要となり、パスポートがあれば入国できるようになりました。

空港から市内までの移動についても制限はなくなり、配車アプリの利用やタクシーも利用可能となりました。

【経済関連ニュース】

(観光産業が復活の兆し)

ベトナム統計局(GSO)によると、観光客受け入れと国際線の再開により、4月の外国人入国者数は3月に比べて2.4倍に急増し、年初4ヵ月間でベトナムに入国した外国人数は前年同期比184.7%の上昇となった。

コロナ禍で壊滅状態になったベトナム観光業界ですが、これを契機に復活に向けて動いていくことが期待されます。

【社会・文化関連ニュース】

(石油価格の高騰は日本以上に深刻な影響)

今、ベトナムの社会で最大の懸念事項の1つと言えは「石油価格の高騰」です。

ベトナムの一般庶民の月収は一般的には日本円で4万円～6万円程度と日本の1/4～1/6であるにも関わらず、石油価格というのは日本とそれほど変わりませんので、当然、石油価格高騰が生活に与える影響はそれだけ大きいものになります。

ベトナムの石油価格は政府が公定価格を決めており、オクタン価95のRON95ガソリンの上限価格は、1リットル当たり2万9980ドン(約168円)となり、日本とほぼ同水準の価格となっている。

こういった値上がりで交通費だけでなく、物流費も上がり、それが食材費や建設費用などあらゆる社会的コストに反映されている。

ある専門家は1リットル当たり4万ドン（約224円）に達する可能性も示唆しており、現在のベトナム国民の最大の不安材料の一つとなっている。

【その他ニュース】

（岸田首相、ベトナムを公式訪問）

岸田首相は4月30日から5月1日、ベトナムを公式訪問し、チン首相との首脳会談を行い、感染症対策や貿易投資、インフラ整備、人的交流、気候変動対策、安全保障など幅広い分野で意見を交わした。

ベトナム政府によると、首脳会談では農産物の市場開放についても協議され、ベトナム産ロンガン（竜眼）、ポメロ、アボカド、ランブータンの対日輸出に向けた検討が行われ、一方、日本産ブドウのベトナムへの輸入解禁も進めていくことで合意した。

（ベトナムの格安航空会社、ハノイー福岡を7月より就航予定）

ベトナムの格安航空会社(LCC)のベトジェットエアがハノイと福岡、名古屋を結ぶ新路線を7月初旬に就航させると発表した。

ハノイー福岡は7月2日から、火・木・土曜日の週3日、ハノイー名古屋は同月3日から、月・水・金・日曜日の週4日で運航する予定とのこと。

新しい2路線の航空券は従来の路線に比べて、画期的に安くなるということで注目されている。

ベトジェットエアのウェブサイト（日本語）

<https://www.vietjetair.com/ja>

以上